

部位別	どんな検査	検査の種類	検査への適応とその他	性別	年齢
腹部CT (15,000円)	腹部内の臓器に腫瘍がないか調べる検査です。 エコーに比べて体型や消化管ガスの影響がなく、腹部臓器が観察できます。	画像診断機器	・腹部症状がある方 (食欲がない・よく下痢をする・お腹が張る・お腹の痛み) ※特に腸に関連した症状のある方は大腸内視鏡検査をお勧めします	男女	全年齢
腹部MRI (30,000円)	腹部臓器(肝臓・胆のう・膵臓など)をあらゆる方向・角度から断層写真を撮影する検査です。 膵管・胆管の観察もできます。	画像診断機器	・CTと併用して受けられることをお勧めします。 ・被ばくが気になる方	男女	全年齢
CEA(3,000円)	採血による検査です。 CEA(癌胎児性抗原)を利用し、消化器系がんなどで上昇する腫瘍マーカーです。 消化器系がんの治療後・喫煙歴により上昇することもあります。	血液検査	・大腸、胃、肝臓などの消化器系がんが気になる方 ・喫煙歴のある方は数値が高めに現れることがあります。	男女	全年齢
CA19-9(3,000円)	採血による検査です。 膵がん、胆嚢・胆管がんで特に高値を示す腫瘍マーカーです。 胃、唾液腺、気管支、前立腺、結腸、直腸、子宮内膜のがんでも高値を示します。	血液検査	・消化器系がんや、膵炎、胆石症などのがん以外の消化器系疾患が気になる方	男女	全年齢
HCV抗体3RD((3,000円)	C型肝炎ウイルスに感染しているかを調べる検査です。 感染していると慢性肝炎が進行し、肝硬変や肝がんリスクが高まります。	血液検査	・1992年以前に輸血を受けたことがある方 血液透析を長期間行っている方 過去に輸入非加熱血液凝固因子製剤(または非加熱血液凝固因子製剤)の投与を受けたことがある方 臓器移植を受けている方 ボディピアス、タトゥーをされている方 健康診断で肝機能の異常を指摘されている方	男女	全年齢